

令和 7 年度 内部環境監査まとめ

令和 8 年 3 月 25 日 内部環境監査事務局（総務課庶務係）

1 監査の概要

（1）監査実施部門

令和 7 年度の内部環境監査は、例年重点監査項目としている『環境管理推進員の役割の確認』、『環境法令の順守状況』、『5 S（整理、整頓、清掃、清潔、躰）の活動状況』、『環境率先行動計画によるエネルギー使用量の適正化』、『改正フロン法施行に伴うエアコン等機器の管理状況』、『低炭素型設備機器及び環境配慮型車両の導入・更新の状況の確認』、『エコ通勤の推進』、『ペーパーレス化の取り組みについて（ICT活用）』の 8 項目を重点監査項目とし、8 部門について監査を実施した。

（2）監査体制

職員 6 名を内部環境監査員に任命し、2 班体制で監査を実施した。

（3）監査取組の経過

令和 7 年 7 月 1 日	内部環境監査員任命（R7. 7. 1～R8. 3. 31）
令和 7 年 10 月 24 日	内部環境監査員研修（302 会議室）
令和 7 年 12 月 19 日	内部環境監査員事前打ち合わせ（302 会議室）
令和 8 年 2 月 3 日・4 日・9 日	内部環境監査実施（8 部門）
令和 8 年 3 月 12 日	内部環境監査結果（総括）まとめ
令和 8 年 3 月 25 日	市長報告

2 監査結果

評 価	R7	R6	R5	R4	R3	R2	R 元
有益（他部署にも推奨できる有益な活動）	11	13	13	12	14	8	—
観察（不適合ではないが、取り組みが不十分である。）	4	1	0	0	0	0	—
軽微（システムは機能しているが、要求事項には不適合である。）	1	0	0	1	0	0	—
重大な不適合（環境マネジメントシステムが機能していない。）	0	0	0	0	0	0	—

※ 令和元年度は、令和元年 10 月東日本台風及び新型コロナ感染拡大防止のため未実施

<主な『有益』活動>

【危機管理防災課】

- ・フードロス対策として、給食センターにて備蓄されていた非常食「救給カレー」について、賞味期限が近くなったものを給食として提供したり、フードバンクに供出したりしている。

【総合政策課】

- ・執務中、課内職員の机上は整理・整頓されていた。書類の保管についても、整然とされており、見習うべきものであった。

【人権・男女共同参画課（人権ふれあいセンター）】

- ・夏季、ゴーヤーのグリーンカーテンを設置している。
- ・課内会議（本課とセンターの会議）について、これまでセンターに集合して実施していたが、今年度から、特に集まる必要があるとき以外は、ZOOM を利用した Web 会議として実施している。

【保育課（更級保育園）】

- ・環境学習会、環境に配慮した活動を実施しており、ごみの分別など園児にもわかりやすい工夫がされている。食育やエコ活動などの取組もよくまとめられていた。

【建築課】

- ・公共事業改良マニュアルについての技師向けの研修を実施している。
- ・5 S 活動について、室内への掲示はもちろんのこと、チェックリストを作成し、個人の実施状況を職員間で確認を行っている。

【教育総務課】

- ・教育要覧の配布先を減らした。
- ・千曲坂城クラブについて、今年度からアプリを活用し、連絡や集金を行っている。

【第1 学校給食センター】

- ・調理の際に出る野菜くずについて、戸倉宿サクラケアパークで飼育しているウサギのエサにしている。

【観光課（あんずの里観光会館）】

- ・灯油タンクについて、点検簿を備え、毎月確認し記録している。年1 回の訓練も実施している。オイルフェンスや吸着マットを備え、有事にすぐ対応できるよう、事務所内のわかりやすい場所に保管しており、事務員とも情報共有できている。

3. 是正処置の状況

【保育課（更級保育園）】

- ・22名の職員のうち、エコ通勤実施者は1名のみであった。通勤距離等もあり難しい部分はあるが、相乗り通勤等取り組める方法を検討すること。【観察】
⇒職員会等で提案した。
- ・灯油タンクの管理責任者名が未表示となっている。異動の際には、場所の確認と引継ぎ、表示替えをすること。【軽微】
⇒異動の際の確認不足が原因であり、直ちに表示を行った。再発防止策として、引継ぎ時に十分な確認を行い、異動後にはチェックポイントを書類と合わせて再確認することとした。

【建築課】

- ・浄化槽の管理に関する手順書を備えていなかった。【観察】
⇒手順書（案）は作成してあるので、内容を精査し完成させること。

【第1学校給食センター】

- ・カラー印刷が増えている原因が、異動による転入者のプリンタ設定によるものであった（初期設定がカラー）。【観察】
⇒設定を白黒にするよう指導し、該当者は指示に従った。その結果、カラー枚数が前月に比べて減少した。

【観光課（あんずの里観光会館）】

- ・エアコンの点検頻度が、環境課に提出された「法的及びその他の要求事項調査票」と現場備え付けの「点検整備記録簿」とで異なっていた。【観察】
⇒調査票の点検頻度を記録簿の点検頻度と一致させた（4回→2回）。

4 総括と今後の課題

（1）エネルギー使用量削減・CO₂削減対策

今年度の内部環境監査でもさまざまな工夫がされていました。

他部門でも水平展開できそうなものについては、優良事例として環境マネジメント説明会等で紹介していきます。

市事業から生じる環境への負荷を率先して提言するために策定する「千曲市役所環境率先行動計画」は、平成15年12月に第1版が策定され、平成30年3月改訂の第8版が現行計画です。第8版の概要は以下のとおりです。

第 8 版	計画期間	平成 30 年度（2018 年度）～令和 12 年度（2030 年度）
	計画対象範囲	市事業に関わる全組織（小中学校も含む）
	基準年度	平成 25 年度（2013 年度）C O ₂ 推計排出量 6,793 t
	目標	令和 12 年度（2030 年度）までに平成 25 年度比で 40%減（＊） （平成 28 年度（5,344t）比で 24%減）

（＊）第 8 版を改訂する際に目標数値を「50%減」に変更する予定

【参考】令和 6 年度 ＝ 平成 25 年度対比で▲約 74.56%（C O₂ 排出 1,728 t）

令和 4 年 10 月～ 低圧施設 402 施設 「C O₂ ゼロ電力プラン導入」

令和 6 年 1 月～ 高圧施設 33 施設 「C O₂ ゼロ電力プラン導入」

令和 7 年 1 月～ 高圧施設 34 施設（+1 施設） 「C O₂ ゼロ電力プラン導入」

（2）5 S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）活動の推進

環境率先行動計画にある 5 S 活動について、引き続き推進してまいります。

また、「庁内でのごみの分別方法」「職場内の書類・消耗品の集約・整理」といったような、基本的なこと、当たり前のことが徹底できるよう繰り返し周知していきます。

（3）環境法令の理解推進について

監査の結果、法令違反となるような重大なものはありませんでした。

人事異動等に伴い、資格の取得、産廃のマニユフェストの扱い等、基本的事項は、法令違反防止のため今後も環境マネジメントや環境法令の研修時等に説明してまいります。

（4）低炭素型設備機器及び環境配慮型車両の導入・更新について

引き続き、電気自動車をはじめ、環境配慮型車両（アイドリングストップ機能付き車両）導入の取組を進めてまいります。

また、現在、主要な公共施設の LED リース事業が実施されています。令和 7 年度は学校施設を中心に作業を行い、令和 8 年度はそれ以外の施設について LED 化を行います。

（5）ペーパーレス化の取り組みについて（I C T活用）

文書管理・電子決裁システムや JUST.DB の導入、ペーパーレス会議の増加により、紙使用量の削減に努めています。

市報と同梱する全戸配布物や回覧物について基本的ルールが策定され、同梱物数が削減されました。